

# VLBIプログラム小委員会 及び VLBI運営小委員会の報告

小委員会委員長

藤沢健太(山口大学)

# VERA・KAVA共同利用 ～ 2014年度からの制度変更 ～

## • 形態

- VERAとKdVAの共同利用を並行して実施
- 1年に2回公募、観測実施も半年毎
  - 審査及び本小委員会も2回開催

## • 審査と観測時間割当

- VERA共同利用時間は700時間／年以内
- そのうちKdVA時間は500時間以内
- KdVA審査・時間割当を先に実施
- VERA共同利用審査はKdVAの後

# KAVA共同利用観測

- 『限定的共同利用』(リスク・シェア)
  - 対象者: 日韓の研究者
  - 周波数: 22/43GHz(1波のみ)
  - モード: 1ビーム、1偏波、1Gbps(周波数チャネル配分固定)
  - ToOなし
- 前後期2回公募
  - 前期(A): 2014/03/15-2014/06/15
  - 後期(B): 2014/09/01-2015/01/15
- 観測割当時間 = 500時間 / 年以内

# 応募状況と審査・時間配分

## KAVA TIME ALLOCATION COMMITTEE (TAC)

- 応募
  - 総数21 (A:13, B:8)
    - 日本5、韓国16
  - 総要求時間 766時間
- 採択
  - 採択総数11 (A:7, B:4)
    - 日本:4、韓国7
  - 観測時間 397時間
    - A: 239.5, B:158(+48)
- TACメンバー
  - Fujisawa K., Minh Y. C., Sohn B. W., Honma M., Byun D.-Y., Shibata K. M.
- TAC会議
  - (A) 2014年1月6日
  - (B) 2014年7月18日

# VERA共同利用観測

- 定常的共同利用
  - 周波数 = 6.7/22/43 GHz
  - 2ビームの観測 = 提案可能
  - 観測局の利用形態は3通り可能
    - VERAのみ
    - VERA+NICT34m
    - VERA+NRO45m+NICT34m
- 目標観測割当時間
  - VERA共同利用時間は700時間／年以内
  - そのうちKaVA時間は500時間以内

# 応募・審査結果

## • 応募

- 総数14(前年は7)
  - 国内13、国外1
  - AGN 8、メーザ 6、μクエーサー 1
  - ToO 1
- 総要求時間 633時間(平均45時間/提案)
  - 野辺山・鹿島利用希望 3提案、122時間

## • 採択

- 採択数 8(前年は6)(A:4, B:4)
- 観測時間 263時間 (A:120.5, B:142.5)
- 野辺山・鹿島の利用 2提案、66時間  
(可能な範囲で実施)

# プログラム小委員会の概要

- 小委員会の開催

- 日時:

- A: 2014年1月28日
    - B: 2014年8月8日

- 場所: 国立天文台三鷹小会議室

- 委員会構成員・出席者(敬称略)

- 台内

- 本間(水沢VLBI観測所)、久野/齋藤(野辺山)、郷田

- 台外

- 市川(NICT、今井(鹿児島大学)、藤沢(山口大学;委員長)

- オブザーバー

- 川口則幸(水沢VLBI観測所、Aのみ参加)

# 採択課題一覽

A

No.	Proposal Title	提案者	所属	カテゴリ	割当時間
2	Annual parallax measurement of the water fountain source IRAS 18113-2503	G. Orosz	Kagoshima University	Stars	40 (8×5)
3	VERA 多周波位置天文モニターによるシュバルツシルト半径スケールでのM87 ジェット	K. Hada	NAOJ/INAF-IRA	AGNs	72 (9×8)
4	Monitoring Sgr A* before and after the encounter with the Gas Cloud G2 II	K.Akiyama	The University of Tokyo/NAOJ	AGNs	18 (3×6)
8	NGC4945 AGN 水メーザー円盤の構造	山内彩	国立天文台水沢 VLBI 観測所	AGNs	10.5 (3×3.5)

星、22

AGN、22/43

AGN、43

AGN、22

B

No.	Proposal Title	提案者	所属	カテゴリ	割当時間
1	The connection between the parsec-scale radio jet and $\gamma$ -ray activity in OJ 287	S. Sawada-Satoh	Mizusawa VLBI Observatory/NAOJ	AGNs	48 (8×6)
3	Probing the vicinity of "ultra-massive" black holes in NGC1277, NGC1270 and UGC2698	Kazuhiro Hada	NAOJ	AGNs	36 (6×6)
4	Stellar phase dependence of SiO $v=2$ and $3 J=1 \rightarrow 0$ maser distributions	Miyako Oyadomari	Kagoshima University	Stars	48 (8×6)
5	NGC4945 AGN 水メーザー円盤の構造	山内彩	国立天文台水沢 VLBI 観測所	AGNs	10.5 (3×3.5)

AGN、22

AGN、22/43

星、43

AGN、22



# 国立天文台VLBI運営小委員会報告

- VLBI運営小委員会とは
  - 国立天文台が設置する委員会の1つ。電波専門委員会の下部に位置する
- 構成員(敬称略)
  - 天文台内:立松、久野、川口、柴田、郷田、小林、佐々木、本間(8名)
  - 天文台外:面高、中井、福崎、徂徠、藤澤、米倉、小川、高羽、嶺重、村田、市川(11名)
- 設置目的(「国立天文台専門委員会規則」より)
  - 第2条 委員会は台長の諮問について答申をし、または台長に意見を具申する。
  - 第8条 各委員会等に、その任務とする特定に事項について調査審議するため、小委員会又はワーキンググループを置くことができる。
- 今期の委員会の議論の方針
  1. VLBI運営小委員会は、電波専門委員会から出された審議事項を審議し、電波専門委員会に答申する。
  2. VLBI運営小委員会は、国立天文台が主体的な役割を担うVLBIの研究に対し、将来計画を含めた研究計画と研究の指針を議論し、VLBI関係者の総意を形成し、またそれを電波専門委員会に提出する。
- 委託期間は2年。2014年9月22日に今期第1回の会議を開催。

# 審議事項（代表的なものを紹介）

- VERA・KaVA共同利用に関する事項
  - VERA・KaVAの運営、特に共同利用の方針は本小委員会で審議し、電波専門委員会に答申して承認を受けて、初めて実施される。
- VERA・水沢VLBI観測所の運営に関する事項
  - VERA/水沢VLBI観測所の運営と将来計画に関する議論を行う。
- 大学連携、東アジアVLBIの運営に関する事項
  - VERAを中心とする組織的な活動は、その方針や現状などについて随時報告及び審議を本小委員会で行い、上部委員会に報告する。
- Astro-Gのレビュー
  - 国立天文台が推進していたAstro-Gの問題を本小委員会でも総括した。
- その他
  - 国内外のVLBI関連活動報告、必要な事項に関する審議などを行う。
  - 関係する者が意見を公にし、議論を行い、合意を形成し、また必要に応じて判断をする場として、本小委員会がある。
  - 例：ブラックホール検討会（委員の提案によって組織され、議論が行われた）

# 会議開催

- 第39回(2012/11)
  - 今期の議論の方針を決定
- 第40回(2013/02)
  - プロジェクトウィーク報告、VERA+KVNの共同利用、他
- 第41回(2013/04)
  - VSOP2問題総括、ブラックホールVLBI-WG、VLBIの将来像、他
- 第42回(2013/08)
  - 2013年度のVERA共同利用について、他
- 第43回(2013/11/22)
  - 2014年度のVERA/KaVA共同利用、VERAレビュー報告、他
- 第44回(2014/02/04)
  - VERAレビュー、KaVA共同利用、大学連携、東アジアVLBI、BH検討会、他
- 第45回(2014/04/18)
  - KaVA共同利用、東アジアVLBI、ブラックホール検討会、他
- 第46回(2014/9/22)
  - 今期第1回、VLBI将来計画、審議内容の確認、ブラックホール検討会報告、大学VLBI連携